

目指す学校像	活気ある学校 1 確かな学力、豊かな心、健やかな体、豊かなかかわり合いをはぐくむ学校 2 安全・安心で、教育環境の整備・充実に取り組む学校 3 家庭・地域・関係機関・関係団体と一体となって取り組む学校
--------	--

重点目標	1 ICTを効果的に活用し、主体的・対話的で深い学びのための校内研修の充実と授業実践 2 不登校生徒の解消、個に応じた対応の充実、いじめ防止指導の徹底、生徒会活動、委員会活動の充実 3 学校公開の推進、CS(学校運営協議会)の充実、体験活動の充実、地域催事、ボランティア活動への参加 4 「学びを楽しみ、他者と協働し、挑戦し続ける生徒の育成」を軸にした授業実践及び校内研修の充実
------	--

※重点目標は4つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学校自己評価								学校運営協議会による評価		
年度目標								実施日令和 年 月 日		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等		
1	<p>【学力向上に関する取組】(現状)</p> <p>○全国学力・学習状況調査や市の学習状況調査では、国語、数学ともに全国、市平均と比べ概ね良好な結果である。</p> <p>○よい授業のアンケートでは、各因子で良好な結果が見られる。また、学年が上がるとアンケート結果が向上する傾向も見られた。</p> <p>○授業に積極的に参加する生徒が多い。</p> <p>○友達と協力することが楽しい生徒が多い。</p> <p>(課題)</p> <p>○全国学力・学習状況調査で、難しいことにあまり挑戦できない生徒が一部いること。</p> <p>○学校評価において、将来についての希望が十分持っていない生徒が一部いること。</p>	<p>「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現に向けた情報端末の活用及び授業改善</p> <p>目標に向かって主体的に取り組む宮前中STEAMSTIMEの実践</p>	<p>①タブレット端末を効果的に活用した魅力ある授業の実践と公開。</p> <p>②タブレット端末を活用した公開授業を全教員が年1回実施する。</p> <p>③ICTを効果的に活用するための校内研修を5回実施し、その中で市教委の指導主事を招聘し指導を受ける。</p> <p>①数学、理科、美術、技術など教科横断的に探究的な学びを行う単元を作り出し、実施する。</p> <p>②教員と生徒が共に学び、試行錯誤しながら課題の解決を目指すSTEAMSTIMEを展開する</p>	<p>①学ぶ意味や目的を持ち、達成感や成就感を持てる課題や振り返りの指導</p> <p>②他者と支え合い、互いの考えを認め合う、学び合う関係作り</p> <p>③課題を解決する方法を身に付け、挑戦する態度を育てる指導法</p> <p>①学校評価に係る教員アンケートにおいて「生徒と共に探究的な学びを実践することができた」と回答する教員の割合が80%以上となったか。</p> <p>②STEAMSTIME実施後の生徒アンケートにおいて「ねらいを達成できた」割合が80%以上となったか。</p>						
2	<p>【安心・安全に関する取組】(現状)</p> <p>○教育相談部会を中心として、不登校傾向の生徒の相談・指導を組織的継続的に行うことができている。</p> <p>○日常的な教員の指導や生徒会活動などを通して「いじめを許さない環境づくり」ができている。</p> <p>(課題)</p> <p>○不登校傾向の生徒の教室復帰があまり進んでいない</p> <p>○新型コロナの影響で生徒会活動や委員会活動が少なくなった。</p>	<p>いじめを許さない学校づくり、いじめの未然防止、早期発見、早期対応の実践</p> <p>不登校生徒の教室復帰に向けた教育環境の整備並びに新たな不登校生徒を出さない教育相談体制の確立</p>	<p>①いじめ0を目指し、未然防止、早期発見、積極的な初期対応を適切に行う。</p> <p>②各種アンケートや生徒指導・教育相談活動を更に充実させる。</p> <p>③宮前中学校いじめ防止基本方針に基づいた指導を徹底する。</p> <p>①教育相談の共通理解のもと、不登校生徒と学校との関りを作り、個別最適な支援を実施する。新規不登校生徒を出さないための方策を研究する</p> <p>②さわやか相談室、SC、市教育相談室等とも連携し、該当生徒に教室復帰までの小さな目標(スモールステップ)を作成し、一つでも上に進ませる。</p>	<p>①学校評価に係る生徒アンケートにおいて「学校で命の大切さや社会のルールについて学んでいます」の肯定的評価95%以上</p> <p>②学校評価に係る生徒アンケートにおいて「わたしは、いじめを許さない、見過ごさないようにしています」の肯定的評価90%以上</p> <p>③同保護者アンケート項目 90%以上</p> <p>①学校評価に係る生徒アンケートにおいて「学校へ来るのがたのしい」肯定的評価90%以上</p> <p>②学校評価に係る保護者アンケートにおいて「お子さんは、学校へ行くのを楽しみにしています」肯定的評価85%以上</p> <p>③同保護者アンケートにおいて「お子さんについて気軽に学校に相談できます」肯定的評価75%以上</p>						
3	<p>【開かれた学校づくりに関する取組】(現状)</p> <p>○昨年度、学校運営協議会を立ち上げ、「子どもたちにどのような力を身につけさせたいか」「学校、家庭、地域と一緒にできる取組」について熟議を行い、より開かれた学校づくりに取り組んでいる。</p> <p>○新型コロナの影響はあるが、少しずつ授業参観や学校行事の公開が進められている</p> <p>(課題)</p> <p>○地域人材の活用、地域資源の活用が少ない傾向にある。</p> <p>○新型コロナの影響もあり、地域催事が縮小されたり、中止されたりして教職員、生徒の地域催事への参加や地域貢献の機会が少なかった</p>	<p>授業参観や学級懇談会、学校行事や部活動等の公開を通じた学校公開の推進</p> <p>地域との連携を図り生徒の地域行事への参加を通じた地域貢献の推進</p>	<p>①授業参観、学級懇談会、学年保護者会、三者面談、進路説明会、携帯タブレット安全教室等保護者への学校公開の年間行事計画への設定を行う。</p> <p>②体育祭、合唱コンクール、文化部の活動発表など保護者、地域へ公開を行う場の設定を行う</p> <p>①本校ホームページ内の学校運営協議会の情報を発信するページに、目指す生徒像や学校・家庭・地域と一緒にできる取組について載せ、家庭、地域と共有できるようにする。</p> <p>②具体的な方策を定め、学校と地域が協働した取組を行う</p>	<p>①学校評価に係る教師アンケートで、「学校の行事予定や生徒の様子について、懇談会や二者面談、学年だよりや学校だよりなどにより、保護者との連携を図っている」の肯定的評価が85%以上となったか</p> <p>②同保護者アンケートで、肯定的評価が85%以上となったか</p> <p>①学校評価に係る地域アンケートで「コミュニティ・スクールの取組により、生徒の地域行事への参加が進められたか</p> <p>②学校評価に係る地域アンケートで、「学校、家庭、地域が協働し、生徒の自律につながる取組が行われている」と回答する割合が80%以上となったか</p>						
4	<p>【教職員の資質向上に関する取組】(現状)</p> <p>○教員の授業力が高い。(よい授業アンケート:4つの因子①18.0 ②17.9 ③17.4 ④17.3)</p> <p>○学校研究課題に組織的に取り組んでいる。</p> <p>(課題)</p> <p>○互いの授業参観や協議の頻度や視点が十分でない。</p> <p>○質の高い学びや深い学びに関する研修や取組が十分ではない。</p> <p>○保護者や地域はわかりやすい授業を望んでいる</p>	<p>授業研究日を設定し授業研究、教材研究、授業準備を行うとともに年間の校内研修を通じた資質の向上の実現</p>	<p>①授業研究日を活用し、教材研究を行うとともに、必要に応じて教科会や分掌会を行い授業力の向上を図る</p> <p>②研究主題に対して、授業でどのような取組をしたか自分の実践や他教員の授業の参観を受け、教科会で共有し良い手立てやワークシート、評価や成績などについて情報交換を行い資質の向上に取り組む</p>	<p>①全ての教員が、「ICTを効果的に活用した魅力ある授業」の実現を目指し日常的にICTを活用する状況になったか。</p> <p>②全ての教員が「個別最適な学び」や「協働的な学び」など「質の高い学び」や「深い学び」を実践することができたか。</p>						